

PCT

国際調査報告

(法8条、法施行規則第40、41条) [PCT18条、PCT規則43、44]

出願人又は代理人 の書類記号 2590WO0P	今後の手続きについては、国際調査報告の送付通知様式(PCT/ISA/220) 及び下記5を参照すること。						
国際出願番号 PCT/JP00/00927	国際出願日(日.月.年)	18.02.00	優先日 (日.月.年)	19.02.99			
出願人(氏名又は名称) 武田薬品工業	出願人(氏名又は名称) 武田薬品工業株式会社						
国際調査機関が作成したこの国際調3 この写しは国際事務局にも送付される			◆)の規定に従い	一 出願人に送付する。			
- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	ページである。	• ·					
この調査報告に引用された先行技	支術文献の写しもネ	系付されている。					
1. 国際調査報告の基礎 a. 言語は、下記に示す場合を除ぐ この国際調査機関に提出さ				うった。			
b. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際調査を行った。 □ この国際出願に含まれる書面による配列表							
✓ この国際出願と共に提出されたフレキシブルディスクによる配列表							
□ 出願後に、この国際調査機	関に提出された書	面による配列表					
□ 出願後に、この国際調査機 □ 出願後に提出した書面によ				5.事項を含まない旨の陳述			
書の提出があった。							
※ 書面による配列表に記載し書の提出があった。	た配列とフレキシ	ブルディスクによる配え	列表に記録した配 ・	記列が同一である旨の陳述 ·			
2. 🗓 請求の範囲の一部の調査が	^ば できない(第 I 柿	蜀参照)。					
3. 開の単一性が欠如してい	\る(第Ⅱ欄参照)	•					
4. 発明の名称は 🗵 出願	頃人が提出したも <i>の</i>	りを承認する。					
□ 次に	ニ示すように国際訳	周査機関が作成した。					
_				-			
5. 要約は 出願	頁人が提出したもの)を承認する。		•			
国際	際調査機関が作成し		際調査報告の発	則38.2(b)) の規定により 送の日から1カ月以内にこ			
 6. 要約書とともに公表される図は、 第図とする。□ 出願 	負人が示したとおり) である。	⊠ なし				
□出際	重人は図を示さなか	いった。	•				
□ 本図]は発明の特徴を一	-層よく表している。					



国際出願番	PCT/JP00/009	2 7

	請求の範囲の一部の調査ができないときの意見(第1ページの2の続き)
第Ⅰ欄_ 注第8条	請求の範囲の一部の調査ができないときの息兒(第14、 ンの2の航台) 第3項 (PCT17条(2)(a))の規定により、この国際調査報告は次の理由により請求の範囲の一部について作
成しなが	
1. 🗵	請求の範囲 は、この国際調査機関が調査をすることを要しない対象に係るものである。
	っまり、 人の身体における診断方法に該当するため。
	Young the feet of
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2.	請求の範囲 は、有意義な国際調査をすることができる程度まで所定の要件を満たしていない国際出願の部分に係るものである。つまり、
	ない国際田願の部分に伝るものである。つよう、
3. 🗌	請求の範囲は、従属請求の範囲であってPCT規則6.4(a)の第2文及び第3文の規定に
	従って記載されていない。
第Ⅱ欄	発明の単一性が欠如しているときの意見(第1ページの3の続き)
メケにつ	述べるようにこの国際出願に二以上の発明があるとこの国際調査機関は認めた。
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
	\cdot
<u> </u>	
	·
_	出願人が必要な追加調査手数料をすべて期間内に納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求
1. 📙	出願人が必要な追加調査手数科をすべて期間内に解刊しためて、この自然拠望ればは、
2.	追加調査手数料を要求するまでもなく、すべての調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追
ļ ·	加調査手数料の納付を求めなかった。
3. □	出願人が必要な追加調査手数料を一部のみしか期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納
_	付のあった次の請求の範囲のみについて作成した。
_ ا	出願人が必要な追加調査手数料を期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載
4. ∟	されている発明に係る次の請求の範囲について作成した。
-	
1	
追加調	査手数料の異議の申立てに関する注意
1	□ 追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがあった。
	□ 追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがなかった。



発明の属する分野の分類(国際特許分類(IPC))

Int. Cl' C07K 14/705, C12N 15/12, C12N 5/10, C12P 21/02, C07K 16/28, C12P 21/08, A61K 39/395, GO1N 33/50, C12Q 1/00, C07K 14/46, C12Q 1/68

調査を行った分野

調査を行った最小限資料(国際特許分類(IPC))

Int. C1' C07K 14/00 \sim 16/46, C12N 15/00 \sim 90, C12N 1/00 \sim 5/28, C12P 21/00 \sim 08, G01N 33/50 \sim 98, C12Q $1/00\sim70$, A61K $31/00\sim48/00$

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

国際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、調査に使用した用語)

SwissProt/PIR/GeneSeq, MEDLINE (STN), WPI (DIALOG), BIOSIS (DIALOG) Genbank/EMBL/DDBJ/GeneSeq,

C. 関連すると認められる文献				
引用文献の	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号		
カテゴリー*	引用又厭名 及び一部の歯別が関連するととな、との気度する歯がいる。			
PA	EP, 899332, A2, (SMITHKLINE BEECHAM CORP) 2,3月,1999(02,03,99) &JP,11056377,A & CA,2224096,A	$1-22, \\ 24-27$		
A	EP, 867508, A2, (SMITHKLINE BEECHAM CORP) 3,9月,1998(03,09,98) &US,5874243,A &JP,11028094,A	$1-22, \\ 24-27$		

|×| C欄の続きにも文献が列挙されている。

| | パテントファミリーに関する別紙を参照。

- * 引用文献のカテゴリー
- 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示す
- 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日 以後に公表されたもの
- 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する 文献(理由を付す)
- 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
- 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

- の日の後に公表された文献
- 「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって て出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理 論の理解のために引用するもの
- 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明 の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
- 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以 上の文献との、当業者にとって自明である組合せに よって進歩性がないと考えられるもの
- 「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

30.05.00

国際調査報告の発送日

20.06.00

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)

郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号 特許庁審査官(権限のある職員)

齊藤真由美

4 B 8931

電話番号 03-3581-1101 内線 3448

C (続き). 関連すると認められる文献 即連する				
C (続き). 引用文献の		関連する 請求の範囲の番号		
カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	IN TO A TO		
EA	Gene, Vol. 248, No 1-2, (May 2, 2000), p. 183-189, Matumoto M. et al. "The novel G-protein coupled receptor SALPR shares sequence similarity with somatostatin and angiotensin receptors."	1-11, 14-16, 19-22		
PA	Biochem. Biophys. Res. Commun., Vol. 265, No. 1, (Nov. 1999), p. 123-129, Mori M. et al., "Urotensin II is the endogenous ligand of a G-protein-coupled orphan receptor, SENR (GPR14)."	1-11, 14-16, 19-22		
A .	Brain Res. Mol. Brain Res., Vol. 54, No. 1, (Feb. 1998), p. 152-160, Donohue P. J. et al., "A human gene encodes a putative G protein-coupled receptor highly expressed in the central nervous system."	1-11, 14-16, 19-22		
		·		
·				
	·			
	·			
·				
		·		
1		_1		



第Ⅲ欄 要約 (第1ページの5の続き)

本発明は、ヒト由来のG蛋白質共役型レセプター蛋白質、その部分ペプチドまたはそれらの塩、該レセプター蛋白質をコードする核酸はよびその誘導体、該レセプター蛋白質をコードする塩基配列に対するアンチセンス配列を持つ核酸及びその誘導体、該G蛋白質共役型レセプター蛋白質の製造法、以ガンドと該G蛋白質共役型レセプター蛋白質リガンドの決定方法、リガンドと該G蛋白質共役型レセプター蛋白質との結合性を変化させる化合物のスクリーニング方法/スクリーニングで得られる化合物またはその塩、該G蛋白質共役型レセプター蛋白質に対する抗体などに関する。